

# 茨城から世界へ

挑戦する企業たち

第一部 先駆者

## 東京未来スタイル(つくば市)

◆17◆

# バイオVB技術発信



東京未来スタイルのユーロ事務所が入るオランダの施設(同社提供)

生命科学分野の研究に必要な機器や試薬を調達し、現場の研究者をサポートする東京未来スタイル(つくば市)。2007年の設立以来、スイス製の分析試薬やスペイン製の細菌検査機器を国内で販売するなど、貿易を事業の柱としてきたが、近年はベンチャー企業(VB)や大学研究機関、海外製薬メーカーとの連携の輪を広げている。

## 商談支援、海外に拠点

本社に遠藤社長を含めて4人、ユーロ事務所にオランダ人1人の計5人。15年3月期に1億円だった売上高は、翌年1・9億円とほぼ倍増。今期も2億円前後に上る見通しだ。

今後は、感染症やがん研究用抗体、再生医療や動物実験の4分野を中心に、研究開発や市場開拓に取り組む。遠藤社長は「将来、再生医療用の皮膚などを全世界で展開したい」と意欲を見せる。

VBのマッチングを通じて目指すのは、新たな価値の創造。商社のネットワークでVB同士の技術交流を促進し、新製品を世に送り出す。(第3火曜掲載)

目指すのは、バイオVBの優れた技術や商品を世界各国で売り込み、国際市場で流通させること。取り組みに賛同したVBの概要や保有技術の特徴を紹介し、関心を持った企業との商談を支援している。14年にはオランダにユーロ事務所を開設。欧州で日本のVBとの連携に取り組む拠点として、4月にも現地法人化する予定。欧州のバイオ研究の現場では、動物実験廃止の動きが広がっており、オランダのVBと連携した代替品の提供に参画する。水を含んだ高分子「ハイドロゲル」を活用し、肺や心臓などの臓器細胞を培養した3D生体機能チップの供給に取り組んでいる。

製薬分野では、薬の効き目を長くしたり、体内への吸収を改善したりする「ドラッグデリバリーシステム(DDS)」事業を展開。新技術の研究開発に取り組む大学や大手製薬メーカーが連携したプロジェクトに参加している。プロジェクトの一環で、昨年、台湾IT企業と連携して現地に事務所を開設、活動はアジアに拡大した。欧州の研究者や製薬メーカーが中国市場の動向を注視する中、遠藤隆社長は「台湾進出は中国本土への足掛かり。コネクション構築が私たちのミッション」と語る。

現在の人員は、つくばの